

CTGの建交労とちぎ

発行所 全日本建設交運一般労働組合
栃木県本部 〒327-0315
栃木県佐野市吉水駅前1-2-1
0283-62-7312 fax 0283-62-7318
http://www.kenkourou.or.jp/
E-mail:DQJ06744@nifty.com

最高裁が賃金格差是正判決 非正規労働者の待遇改善に



「非正規だから安くても当たり前」そんな社会が格差と貧困を拡大させてきました。

6月1日最高裁は、正社員と非正規の待遇格差の一部が、労働契約法が禁じる「不合理な格差」に当たると判断しました。
その一方で、定年後再雇用された嘱託社員の裁判では、格差の大半を認める判決を下しました。

過労死促進「働き方改革」廃案を

政府が今国会での成立を狙う「働き方改革」法案、審議のなかで様々な問題が明らかになっていきます。
高度プロフェッショナル制度は、政府が労働者のニーズをねつ造、過労死を助長する制度であることが明らかになっています。
時間外、深夜割増も支払わず、年間104日の休みさえあれば24時間労働を48時間連続させても違法にはならないという「現代の奴隷制」です。法案では年収要件が定められていますが、一度導入を許せば拡張適用されます。また、残業代の上限制度は、自動車運転、建設は先送りになっています。世論で廃案に！



市民と野党共闘による戦争法廃止パレード（6月15日宇都宮市）

「大部屋が満室」のとき 差額 べツド代 支払わなくていい

年々入院する組合員が増えています。入院時「大部屋がいっぱい」と言われ個室に入られるケースも少なくありません。
このような病院都合の場合、差額ベッド料を請求できないことが、3月の厚生労働省通知で初めて明記されました。たとえ同意書があっても病院都合や治療上の必要性がある場合は患者から徴収してはけません。
この通知を活用し、払った後でも返金してもらった人もいます。患者の弱みにつけ込む悪質な病院もあるようです。詳しい資料は事務所まで。



病院都合でも差額ベッド代を請求するケースも。

この裁判は、物流会社の契約ドライバーとして働いていた労働者が、正社員ドライバーと同じ仕事をしているにもかかわらず、手当の一部しか支給されていないとして起こしました。
労働契約法20条は正社員と非正規社員との間で、不合理な労働条件の違いを禁止しています。ところが何が不合理なのかは明確になっていません。
最高裁は「不合理か否かの判断は賃金総額の比較のみではなく、賃金項目の趣旨を個別に考慮すべき」と初判断を示しました。

そのうえで、5種類の手当の格差を不合理と認めました。
同じ仕事をしているのに、正社員と非正規では賃金格差の大きい会社が多く、この判決を今後現場で活用することが求められています。

定年後の賃下りは不合理どころか、横浜市の運送会社に定年後再雇用された嘱託社員の裁判では、基本給や大半の手当の格差について、嘱託社員は退職金を受け取り、近く年金が支給されるなどを理由に、正社員との格差は「不合理ではない」と判断しました。

多くの運送会社が定年後、賃金を大幅に引き下げて再雇用する仕組みをつくっています。しかし判決は、無条件に格差を認めているわけではありません。退職金や年金の有無など、ケースバイケースで判断されるべきです。
単価、過積載、白ナンバー排除等々、現場の実態を訴える行動です。今年は山での生産待ち問題も取り上げます。「俺も言いたいことがある！」という人は参加できます。どしどし事務所まで。

ダンブキャラバン
七月十九日に決定
栃木県・栃木県警
本部への要請

第二十五回全国ダンブキャラバン栃木行動
を七月十九日(木)に行います。
午前10時30分、県午後一時30分、県警

重大事故が起こる前に

道路管理者に改善を要請

プロドライバーにとつては道路が職場です。職場の環境改善、事故防止は組合の重要な課題でもあります。六月二〇日、県道を



6月20日栃木土木事務所では危険箇所を説明

管理する栃木県栃木土木事務所、組合員からの意見をもとに八箇所の改善を求めました。藤坂碎石への県道は重点路線

今回重点箇所として対応を求めたのは、県道二八二号葛生・岩舟線です。

この路線は急カーブが続く峠道ですが、藤坂碎石工場があるためダンプの交通量が多く、対向車との接触など危険が指摘されています。最近特に樹木等の成長により見通しが悪くなっています。

土木事務所は所有者等確認し検討することを約束しました。

古い自動車への増税に納得しない男の進行形連載 自動車税払わん②

【先月号の続き】五月某日県税事務所を訪問。男「納得できないのでここで本税分(三四五〇〇円)だけ払います。銀行引落を解除してください」。

【審査請求とは】行政の決定に不服がある場合、その理由を述べ決定の取り消しなどを求める制度。法に基づく国民の権利。「ご親切にありがとうございます」といいます。

み支払い増税分五〇〇円が未納の状態になりました。すると奥から上司と思われる男性職員が書類をもって登場。「審査請求書」の記載例です。

丁重にお礼を述べ、県税事務所を退出。外は五月晴れ。男は栃木県行政不服審査会と徹底的に論戦することを決意します。男の主張はこうです。

古い自動車を一律に「環境負荷の大きい自動車」とするのは根拠がない。所有する車両は排ガス基準、燃費ともに現在のエコカー減税対象車と同等程度であり、登録年数だけで差別するのは「租税公平主義」に反し憲法十四条一項に違反する。

環境への負荷は自動車を生産、維持、処分を含めたトータルコストで評価すべき。と、ここまで考へてある重大な問題に気づきます。このまま未納闘争を続けるか...車検が取れない!(つづく)

【組合員紹介】1人総合建設業・蔦頭(かしら)仕事



須藤清治さん(59歳)

建設職人の世界も分業化が進んでいます。昔は一人で大工、左官、塗装、解体等々、幅広い技能を持つ職人が多く、頭(かしら)仕事と呼ばれていました。須藤さんは父親の代から六〇年続く頭仕事職人として働いています。「子どもの頃から近所の墓地の地盤整備とか、親父について仕事を手伝ったから、自然と覚えることができた。その半面、若い頃はこんな大変な仕事はいやだなあと、思って東京の調理師学校に行ったりもした」。「二十七歳の頃、親父の仕事をやろうになったからもう三十三年位。もともと高い所が得意だったから、上棟式のときは上がって三寸角(九cm x 九cm)の上に乗って掛矢(木のハンマー)を振る役。落ちたことないね。いまは足場を組んで上がるから楽だけだ」。「ハウスメーカーと違ってお客さんが現場にいる仕事が多い。長年の信用で地元の仕事も多い。絶対いいかげんな仕事はできない。この前の大阪北部地震で倒れたブロック塀なんてほんとひどいね」。子どもは三人とも別の道に進みそうだから。頭仕事は知識、技能、経験ともに年数が必要、担い手の育成は大きな課題になっています。

佐野ラーメン放浪記⑱

【日向屋】

佐野市免鳥町548-7
定休日 水曜日

ひなたや



早い日は午前10時から並んでいます。しかし、体に障害のある人や高齢者は並びたくても並べない。そんな人のために優先日や優先席を設定すれば佐野ラーメン業界も違う展開があるのでは。



土日以外でも行列の情報が振り回されています。いまやラーメンではなく、宣伝が「うまい」店が繁盛している感じがします。ラーメンが「うまい」繁盛店を紹介します。免鳥町フルーツライン沿い(ほんとローカルな表現)の日向屋さん。

麺は最近主流のつるしこ系、スープは澄んだ塩と醤油の中間っぽい上品系...。なぜか味について書くのが気恥ずかしくなりま。しよせんそのときの体調次第で...

「自動車グリーン税制」ガソリン車の場合平成一七年三月三十一日までに初度登録された自動車は約一五%増税。目的は地球温暖化防止、大気汚染防止。けっして自動車メーカー支援税制ではありません。